



那須南病院だより

〒321-0621 栃木県那須烏山市中央3丁目2番13号 TEL.0287-84-3911(代)

No.8
2009.11



「敬老会」を開催いたしました。

丸写真：ボランティアグループによる剣舞

病院の理念

私たちは、患者の皆様にも良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の基幹病院として医療機関との連携の基に救急医療、専門的医療など地域の求める医療を行います。
2. 診療情報の的確な提供及び説明と同意に基づく心の通った医療を行うとともに人権とプライバシーを尊重します。
3. 最新医療の研鑽に努め、医療水準の向上を図るとともに医療の安全性向上に積極的に取り組みます。
4. より良い医療を継続して提供するため、収益の確保と経費の節減を図り、合理的・効率的な経営に努めます。

祝

「南那須地域医療を守る会」誕生

病院長 関口 忠司

過日地域の有志により「南那須地域医療を守る会」が生まれました。

日本の各地で医師不足などを背景に地域医療の継続的な提供が困難になる中で住民自身が立ち上がり、健康問題を自分たち自身の問題として考える動きがおきています。自分たちで病気の知識を求め、夜間に受診すべきか、通常の時間に受診しても十分なのか、専門家と共に学び医療機関の上手なかかり方を広めています。これらの活動が健康への関心呼び起こし、早期発見、早期治療に繋がったり、生活習慣病を防いだりするばかりでなく、夜間の不要な受診を控えることで、過酷な勤務で休日や夜間の救急医療を守っている医師の疲弊を救い、医療現場の人を助けるなど、地域医療を守る大きな力となっています。

医療者、住民がお互いに相手の思いを知り、支え合うことで、健康問題の拠点となる

医療機関を守れるという心強い成果が伝わってきています。

この会の発足には十月から後任の先生にバトンを渡されましたが、長年七合診療所で地域医療を守り続けてこられた米山先生が深く関わっておられます。幸いなことにこれからの活動にも参加して頂けるようです。医療者、住民両方の立場にご理解のある先生のお力を得ながら私も積極的に参加して地域の方々の思いに耳を傾け、そのことと同時に医療者の立場から医療を取り巻く現状や、健康情報の提供をしたいと考えています。

この活動には栃木県、南那須広域行政事務組合などの関心も集め補助金も得られるようです。地域住民の方々が主体となり医療関係者等、行政も含め多くの人の参加でこの会が大きく育ち、地域の医療をこの地にしっかりと根を張った姿にしていく牽引力となることを期待します。

院内紹介

手術室・中央材料室

手術室では、患者様の手術が安心して安全に行われることを第一目標としています。そのため、術前訪問（患者様の病室を訪問）を行い患者様の情報把握、

皮膚・神経障害を起こさないための術中体位の工夫、安全な手術器械・器具の提供などを行っています。

安全で安心な手術を常に心がけ、医師・手術室看護師・病棟師長が参加し月1回会議を行い、周手術期（術前・術中・術後）看護の共通認識を図り、情報交換、業務改善などに心掛けています。医療スタッフ間のコミュニケーションを高め、情報を共有することが連携を図る上で大切であり、チーム医療の充実に繋がると考えます。



手術室



中央材料室

手術室に隣接した中央材料室では、患者様に安全・安心な医療を提供するために、各外来、病棟で使用した器械・器具を洗浄、滅菌し、医療器材を各部署に提供することで、院内感染防止の役割を担っています。滅菌機械は、高圧蒸気装置（オートクレーブ）とエチレンオキシドガス装置、低温プラズマ装置（ステラッド）があります。病院内の手術や検査、処置に使用した医療器材の洗浄から滅菌に至るまで一括して行っており、目立たない地味な仕事ですが、医療及び看護を側面から支えています。

今後も患者様の安全を守り、質の高い看護を提供できる様、スタッフ一同知識と技術の向上に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

新型インフルエンザ



昨年十二月にも同じタイトルについて書かせていただきましたが、このときの世界の注目はH5N1型トリインフルエンザでした。強毒型のインフルエンザがパンデミック（世界的大流行）となった場合の混乱を想定し、各国はH5N1型に対する行動計画を作成し、ワクチンの備蓄を行ってきました。ところがそれから四ヶ月後、メキシコで豚インフルエンザのヒトへの流行が発生しました。このインフルエンザは瞬く間に世界中に感染が拡大し、六月十一日、WHOはパンデミックフェーズ6（世界的大流行）を宣言しました。インフルエンザパンデミックはトリからではなく、ウイルス学者もほとんどノーマークであった豚インフルエンザでした。この新型インフルエンザはこれまで季節性に流行していたソ連かぜと同じ亜型H1N1型でした。しかしヒトの間で変異を繰り返してきたソ連かぜと、豚の間で流行してきたインフルエンザでは同じ亜型でも抗原性が大きく異なるため、ほとんどの

人に免疫がなく、これだけの大流行となったのです。現在流行している新型インフルエンザは弱毒型であるといわれています。インフルエンザには季節性のインフルエンザ（致死率0・1%）のように病原性が弱いものから、トリインフルエンザH5N1（ヒトでの致死率60%）のように高病原性のものであります。この病原性の違いは、弱毒型のインフルエンザは鼻やのど、気管支の細胞に感染するのに対し、H5N1トリインフルエンザは全身の細胞に感染するといった違いがあります。そしてその病原性を規定する機序のひとつがウイルスのたんぱく質のアミノ酸配列のちよつとした違いであることも知られています。インフルエンザの遺伝子は非常に変異しやすいため、このちよつとしたアミノ酸配列の変更も容易に起こりうることとなります。実際、一九一八年に流行し世界で二〇〇〇、四〇〇〇万人が死亡したといわれるスペインかぜでは、流行の第一波ではそれ程病原性は強く

なかつたものの、三ヶ月後の第二波では致死率が五倍にもなつたそうです。現在流行しているインフルエンザも今後病原性が強くなる可能性はあり、専門家はみているようです。

現在流行しているインフルエンザの特徴として、若年者に重症化する症例が多いという事です。日本では九月二十二日まで新型インフルエンザで入院した人の71%が十五歳未満でした。急性脳症を来した二十六人中二十三人は十五歳未満でした。WHOによると新型インフルエンザの重症化リスクの高いグループは小児、妊婦、慢性肺疾患だそうで、これに該当する方がインフルエンザ様症状を認めたら、早めにかかりつけの病院や診療所に受診することをお勧めします。

重症例にばかりに目を向けると怖い病気だと思ってしまうがちですが、WHOは次のような見解も発表しています。「世界的に新型H1N1ウイルスに感染したほとんどの症例では、たとえ薬剤を使用しなくても合併症もなく一週間以内に完全に回復していることが確認された」と。沖縄では今年八月に早くも本格的な流行を迎えましたが、このときは特に夜間、休日に地域の中核病院に患者が集中し、救急外来患者は通常の二倍で、待ち時間は四時間を越え、さらに電話相談などに看護師などが対応せざるを得ない事態となりました。ただ、外来患者の94%は軽症患者であり、軽症患者の対応に追われ、重症例に十分な時間をとることができない、といった事態になつたそうです。

これから寒さが厳しくなるにつれ、本格的な流行期を迎えることと思います。ワクチンも優先順位があり、なかなか一般の方が接種できない状況ではありますが、上述のように現在のところ大部分の人にとつては一過性の病気であるということ踏まえ、冷静な対応が望まれます。地域の流行状況やウイルスの病原性の動向などは厚生労働省や感染症情報センターのホームページで知ることがができますので、情報収集してみたいかががでしょう。

院内感染対策委員長

関根 豊

院内行事 敬老会

九月十六日（木）二階テイルムにおいて病院内「敬老会」を行いました。

「敬老会」は看護部内のサービスクomiteeが中心となり毎年行う恒例行事で、今年是全国民謡大会の優勝経験を持つ中村正男さん（那須烏山市下境）と伴奏に尺八奏者塩野目一人さん（那須烏山市下境）をお招きし、お年寄りに馴染みの有る曲を中心に自慢ののどを披露いただきました。また、那須烏山市内のボランティアグループによる剣舞や詩吟などの披露を行いました。

会場においては、手拍子や歌を口ずさむ患者様、じっと目を閉じて聞き入る患者様など様々でしたが、短い時間ではありましたが、心身ともに穏やかな時間を過ごしていただいたと実感しております。

今回ご協力をいただきました中村様、塩野目様のご両名と、参加くださいましたボランティアグループの皆様へ感謝申し上げます。

業務改善・サービスクomitee

那須南病院外来診療担当医一覽

(平成21年11月1日現在)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科 循環器科 神経内科	8:30～11:30	関根 豊 大木基通	森成正人	高橋秀明	宮澤保春 金澤恵理	森成正人
		金澤恵理 宮澤保春	宮澤保春 高橋秀明 熊田真樹	関根 豊 宮澤保春	森成正人	大木基通 高橋秀明 小林敏博 (第1・3・5)
	13:30～16:00	原 健二	熊田真樹	大木基通	原 健二	宮澤保春
小児科	8:30～11:30	黒崎仁寛	黒崎仁寛		黒崎仁寛	黒崎仁寛
	13:30～15:30	特殊外来			予防接種等 [隔週・要予約]	
外科	8:30～11:30	関口忠司	森 和亮	小泉 大	関口忠司	森 和亮
		金丸理人	特殊外来	金丸理人	小泉 大	
整形外科	8:30～11:30	久保田敬也		久保田敬也	萩原 秀	久保田敬也
眼科	8:30～11:30	中村恭子	中村恭子	佐藤久生	予約外来	中村恭子
	13:30～15:00		予約(手術)	予約外来	休診(手術)	
耳鼻咽喉科	8:30～11:30		後藤一貴			中島逸男
	13:30～15:30					
皮膚科	13:30～16:00			村田 哲		
泌尿器科	13:30～16:00			中野一彦 又は 貫井昭徳		

* 都合により担当医が変更、又は休診となることがあります。

* 内科では、■の医師が初診外来です。

* 眼科の木曜日午後は、手術のため休診となります。

休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

救急の患者様は、随時対応いたしますので、電話（☎84 - 3911）にてご連絡ください。

外来患者様は、原則院外処方になります。

ホームページ <http://www.nasuminami-hosp.karasuyama.tochigi.jp>